



さつき沼ビオトーププロジェクト

さつき沼ビオトーププロジェクトとは

各班の活動内容

六戸高校は閉校までの4年間で、館野公園のさつき沼のビオトープ化に取り組んでいきます。

まず今年1年は、ここにどんな動植物が存在しているかを調べ、北里大学などからアドバイスをいただきながら、具体的にどのような取り組みや設備が必要なのかを話し合っていきます。この話し合いの結果をもとに、来年以降3年間で六戸町などとタイアップしながらビオトープを作っていきます。

こうして作られたビオトープは、地域住民のみなさんや、小学校や中学校の子どもたちの学習や交流の場として長く利用されていくこととなります。

班	主な活動
魚班	さつき沼に棲む魚類を捕獲し、種類を調べる。ドジョウやトゲウオなどの希少な魚類、ブラックバス・ブルーギルなどの外来魚に特に留意する。水抜きイベントなどを企画運営する。
羽虫班	館野公園に住んでいる昆虫を捕獲してリストを作る。昆虫の名前と捕獲した場所を記録し分布図を作る。ホタルなどを確認するため、夜間の観察会なども検討する。カブトムシ観察会やホタル観察会などを企画運営する。
甲虫班	
鳥班	館野公園に住んでいる鳥の写真を撮影していく。撮影後に種類を判別し、夏鳥・冬鳥・留鳥に分類し、リストを作る。冬鳥観察会などを企画運営する。
水棲生物班	さつき沼に棲む昆虫、両生類、甲殻類、爬虫類などを捕獲しリストを作る。イモリ・スナヤツメなどの在来種、アメリカザリガニ・ウシガエルなどの外来種に特に留意する。ザリガニ釣り大会などを企画する。
樹木班	館野公園に分布している樹木を調べる。分布図を作る。
草花班	館野公園に咲いている草花を調べ分布図を作る。希少な在来種やオオハンゴンソウなどの外来種に特に留意する。
地図班	文化祭展示などにむけて大きな立体地図を作成する。また、各班が作成した情報をもとにわかりやす生物分布図を作る。